

地場産品活用推進事業

概要

村の全面積の9割以上が林野で占められ農地面積が少なく鳥獣被害もあり、更に農業者の高齢化も重なり**農業経営の維持が危ぶまれている**状況である。

そこで**林野を活用したビジネス展開に着目**し、本村でも保有している世界自然遺産白神山地のブランドを活用した**山菜等の販売及び販売体制の確立**をすることにより、**農業経営が維持**され高齢者団体も含む、地域振興を図るものである。

事業の内容

事業の内容

- ・販売体制の確立(村内の団体のみで発注、製造、販売が可能)
- ・市場調査からの商品開発
(山菜及び特徴ある農産物の商品が完成)
- ・ICTビジネスの確立
(PCクラウドで情報共有、村専用TVchで出荷注文)

総事業費

11百万円

ポイント

- ★ **6次産業化の確立**→地域全体で行う産業システム
- ★ **ICTを活用した業務の簡素化及び効率化**

事業の成果

- ・既存栽培作物に加え、**新規作物(山菜)**が加わることでの農家所得の向上
(山菜の場合:栽培経費が掛からない。労働力の軽減)
- ・市場に流通しない**作物(規格外)**が**買い取られる**ことでの農家所得の向上
(りんごの場合:小玉、ツル割れ、着色不良等)
- ・**高齢者へ役割**を与えることによる活性化(医療費の減額)

青森県西目屋村

ビジネスの仕組み

